



いわいずみ



シート 大家族⑱

岩泉の「野球一家」巽野健一さん7人家族です。和奏さん(岩泉高1年)は、野球部のマネージャー。啓心君(岩泉小6年)は、龍泉洞Jスターズで活躍し、県選抜に選ばれました。健一さんも現役でプレー。応援が家族の楽しみです。

- P2 やっぱり牛が好きだから。
- P4 台風前の町に戻るため 歩んできた1年
- P6 決算審査 ここをチェック
- P8 龍泉洞の観覧料 1100 円に
- P11 町の考えを問う(7 議員が一般質問)



西塚和貴さん（有芸・24歳）



中村匡志さん（小川・30歳）



山屋祐太さん（小川・26歳）



熊谷 優さん（岩泉・29歳）

やっぱり牛が好きだから。

畜産・酪農の明日を考える

議員と語る会
JA青年部編

議会は6月27日、新岩手農業協同組合青年部宮古支部の畜産・酪農家との「議員と語る会」を開催しました。日頃抱えている課題や将来の夢など、これからの岩泉の畜産・酪農について考えました。みんなの思いは「やっぱり牛が好きだから」。

Q 皆さんが日頃抱えている課題や困っていることは何ですか。

月に1日程度しか休めない。ヘルパーの人材確保を

農協に酪農ヘルパー（※）組合があるが、宮古地域に1人しかいない。月に1回予約をしてお願している。しかし、他の農家との調整もあって、思うようにならない。
そこで、町と農業振興公社が連携し、ヘルパーの人材を確保できないか。

獣医師や人工受精師が足りない

獣医師や人工受精師が足りない状況である。今いる人でやり繰りしている。最低でもあと1人ずつは確保してほしい。

省力化を進めたい
町でかさ上げ補助を
自動給餌機や搾乳ロボットを導入し、省力化を図りたい。



森山友輝さん（JA職員・31歳）

休みを取りたくても取れないのが今の農家の現状です。

施設整備や機械の導入に対して、若い自分たちの力を信じて、町でかさ上げ補助をしてほしい。

人手が足りない

農家は、昔から家族経営が主であった。家族の高齢化などで、今はこの家でも人手不足である。従業員を雇っても長続きしない。



町の畜産・酪農を支えている農業振興公社の大牛内育成牧場

Q 将来の夢や希望を教えてください。

複合経営をして売り上げ1億円を目指す
やめる農家から経営移譲を受ける予定である。酪農や和牛繁殖の複合経営をして、売り上げ1億円を目指す。

子どもが跡を継げる環境を整えたい
若いうちから牛舎の整備を進めて、将来、子どもがやりたいと

言ったら、すぐ渡せるように跡を継げる環境を整えておきたい。

Q 若い皆さんが、酪農をやるうとした決め手は何ですか。

小さい頃からやっぱり牛が好きだから
小さい頃から牛と一緒に生活し、触れ合ってきた。自然な流れと

感じているが、やっぱり牛が好きだから。

Q 町の施策へ言いたいことは。

若い世代に家賃補助を
岩泉は、アパートなどの賃貸住宅が高い。若者の給料では生活できない。定住化の観点からも新婚や子育て中の若い世代に家賃補助をしたらいいのでは。

来年度の町施策要望事項に決定

9月定例会に「畜産・酪農に関する請願」が提出され、全会一致で採択しました（請願内容は10ページ参照）。
議会では、請願と議員と語る会での提言を受け、令和2年度町施策要望へ「町独自のヘルパー制度の確立」と「省力化に向けた設備などへの補助制度創設」を盛り込むことに決定しました。

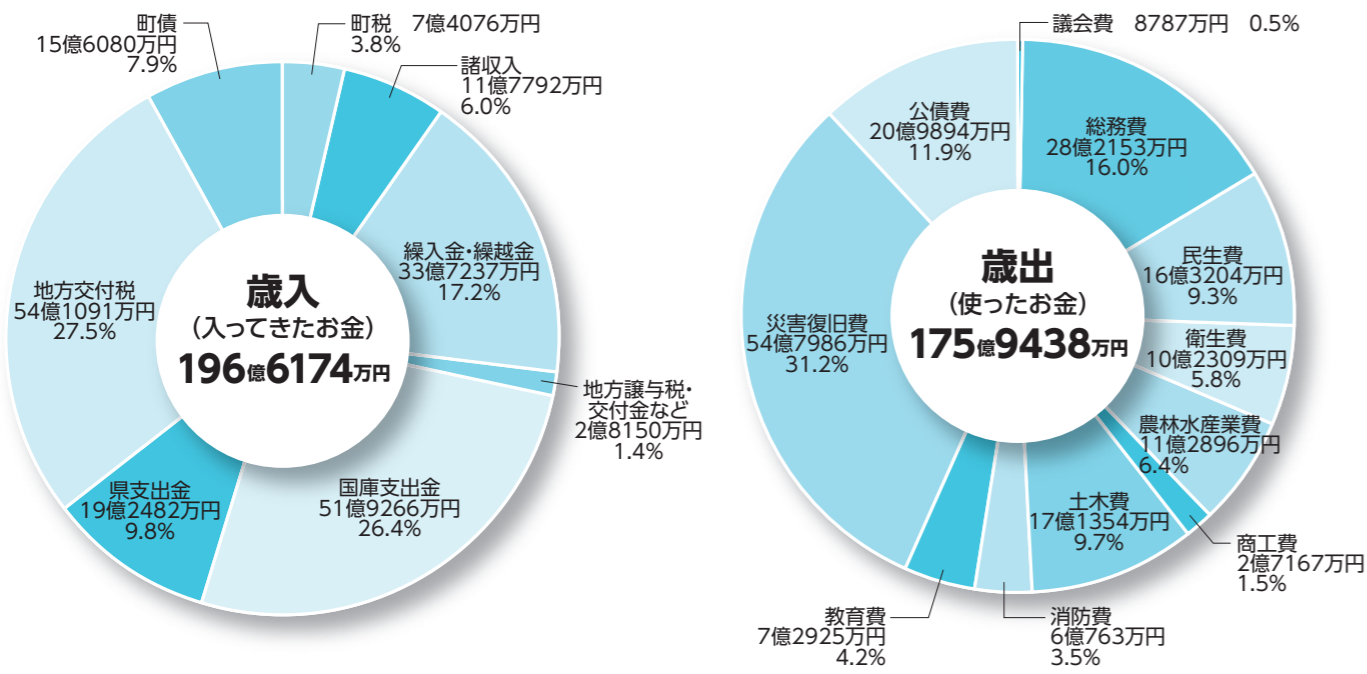


若い力で畜産・酪農の明日に期待

次は、台風前の町に戻るため歩んできた1年

(※) 酪農家が休みをとる際、酪農家に代わって餌やりなどの仕事をする人

一般会計決算の内訳



台風前の町に戻るため 歩んできた1年

一般会計175億円の歳出決算を認定

9月定例会は、9月11日から20日までの10日間の日程で開かれました。

初日の一般質問では7人の議員が登壇し、町政運営の基本姿勢をたどりました。(質問の内容は11ページから18ページに掲載しています)

町長から提案のあった条例、補正予算などの21議案を審議し、全会一致で原案のとおり可決しました。

175億円の歳出決算となった30年度一般会計と7特別会計は、決算審査特別委員会を設置し、全ての決算を原案のとおり認定しました。

台風前の緑豊かな町を取り戻すため歩んできた1年。30年度の主な復旧・復興事業を紹介いたします。

※写真の決算額は、30年度のみ金額であり、全体の事業費ではありません。

30年度の主な歳入 (収入済み額)

- * 町民税 (個人・法人) 3億2102万円
- * 固定資産税 3億1633万円
- * 軽自動車税 3286万円
- * こども園保育料 1986万円
- * 住民票などの諸証明手数料 660万円
- * 災害公営住宅整備に係る国庫補助金 5億6802万円
- * 太陽光発電整備の県補助金 7133万円
- * 寄附金 4167万円
- * ふるさと納税 7297万円

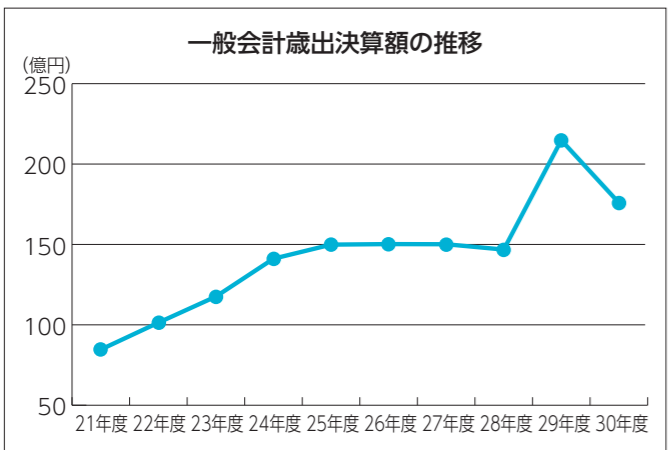
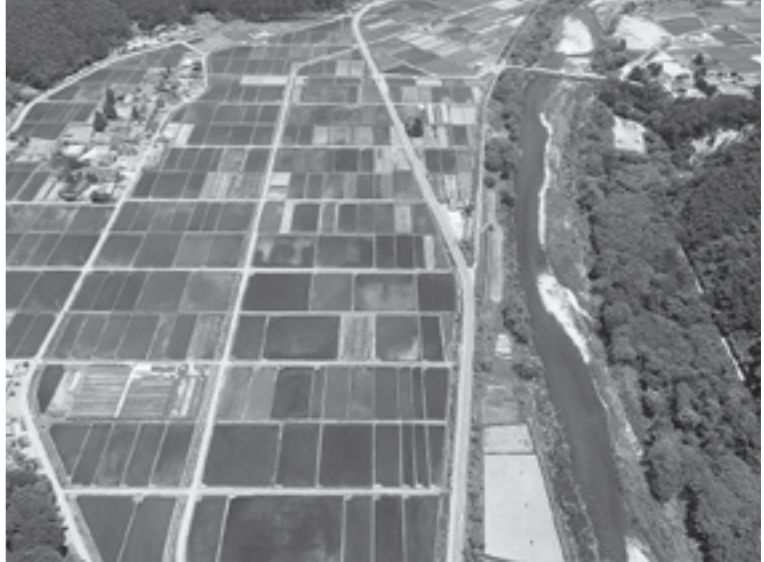
30年度の主な歳出事業

- 【総務費】 ケーブルテレビ施設の整備 1億4238万円
- 【民生費】 こども園の運営費 1億1581万円
- 【衛生費】 ごみ・し尿の処理など 1億4880万円
- 【農林水産業費】 ワサビ加工施設の整備 3億61万円
- 【商工費】 ふるさと納税の返礼品代 2541万円
- 【土木費】 被災者移転地分譲整備 7775万円
- 【消費費】 太陽光発電・自家発電設備の整備 1億3843万円
- 【教育費】 岩泉高校への支援 4112万円
- 【災害復旧費】 道路・河川の災害復旧 32億656万円

災害公営住宅整備 10億9085万円



農地・農業施設の災害復旧 3億6335万円



30年度 各会計の決算額

会計名	歳入	歳出
一般会計	196億6174万円	175億9438万円
特別会計		
国民健康保険	12億3035万円	12億2942万円
診療施設勘定	3938万円	3650万円
後期高齢者医療	1億1424万円	1億1268万円
介護保険	15億9609万円	15億6400万円
サービス事業勘定	1038万円	986万円
簡易水道	6億4616万円	5億9448万円
観光事業	2億61万円	1億8953万円
公共下水道事業	1億9767万円	1億8475万円
大川財産区	987万円	985万円
合計	237億649万円	215億2545万円

生活道・生活橋補助 (9件) 2935万円



防災士養成研修 252万円



岩泉球場災害復旧 2億5354万円



◆財政用語

【地方交付税】町の財政力に応じて国から交付されるお金

【国庫・県補助金】町が行う事業に対して国庫から補助されるお金

【町債】事業の財源に充てるため国などから借りたお金

【地方譲与税】国税である自動車重量税などが一定の割合で町に交付されるお金

【繰入金】積立金から取り崩したお金

【諸収入】延滞金、預金利子などのお金

【総務費】一般的事務経費や財産管理などの経費

【民生費】高齢者や児童など社会福祉の経費

【衛生費】集団検診やごみ処理などの経費

【農林水産業費】農林水産業の振興や農道・林道の整備、漁港整備などの経費

【商工費】商工業の振興や観光開発の経費

【土木費】町道や河川整備などの経費

【教育費】学校教育や社会教育などの経費

【公債費】事業を行うときに借りたお金の返済金

次は、決算審査 ここをチェック



決算審査

決算審査特別委員会(合砂文司委員長)は、9月18日から20日までの3日間にわたって開かれ、一般会計と7つの特別会計の30年度決算を審査しました。

決算審査意見
監査委員 佐々木良治 菊地 弘巳
* 将来を見据えた事業の選択と重点化で経費の抑制を図ること。
* 限られた財源を効果的に活用すること。

行政区 転居先の所属する行政区は

問 仮設住宅から災害公営住宅に転居した人の行政区はどうなるのか。

答 転居先の災害公営住宅が所属する行政区になる。

問 文書配布や回覧など対応はできているのか。

答 行政連絡員に随時連絡し調整している。

が、把握が不十分なところもある。確認し早急に対応していく。

問 行政連絡員が、前期、後期と分かれている行政区もある。10月に入る前に行政連絡員に説明すべきではないか。

答 詳細な確認ができていないところもある。早急に対応する。

問 配食サービス委託料の内容は。

福祉 配食サービスの内容は 弁当の配達と安否確認



調理困難となった高齢者には助かるサービス

答 調理が困難な在宅の高齢者に食事を

提供している。1食400円の弁当を配達し、安否確認も行っている。町社会福祉協議会に委託し、30年度は60人が利用した。

問 希望すれば町内全域で配送可能か。

答 高齢者世帯、退院間もない世帯など調理が難しい人に限られる。調理は、どんぐり苑、小川、大川のデイサービスセンターの3カ所で行い、町全域に配送している。

税金 収入未済額減少の取り組みは 預貯金などの財産差し押さえ

問 町税で、1300万円を超える収入未済額(※)がある。減少に向けた取り組み状況を示せ。

答 財産差し押さえを中心に収納率の向上に努めている。

30年度は、町民税などの普通税と国民健康保険税を合わせて28件、1216万円の財産差し押さえを行った。預貯金17件、給与3件、売掛金など8件である。

(※) 税金などのうち、年度内に納められなかった額

救急 ドクターヘリ要請件数は 前年度に比べて増加傾向



命をつなぐドクターヘリ(岩手医科大学ホームページより)

問 30年度の救急車の出動件数とドクターヘリの要請件数は。

答 救急出動が486件で、搬送された人は457人。ドクターヘリの要請件数は37件で、搬送された人は15人である。救急出動は横ばいであるが、ドクターヘリは前年度に比べて増加傾向にある。

問 岩泉中学校にドクターヘリの着陸が

答 救急車が行けない地区は無い。

問 災害により救急車が行けない地区はあるか。

答 ドクターヘリの医師の指示である。済生会岩泉病院に搬送し、ヘリが到着後、ドクターヘリの医師も一緒に病院に入って処置するためである。

多いと感じる。理由は。

問 災害により救急車が行けない地区はあるか。

答 救急車が行けない地区は無い。

再建 被災者の生活再建支援は 再建完了まで支援を継続

問 台風被災者の生活再建支援事業で残っている世帯数と、支援制度の申請期限は。

答 現時点で43世帯が残っている。加算支援金(※1)の申請期限は、本年9月27日である。県を通じて国に延長を要望している。

問 それぞれの事情でいまだ仮設住宅に暮らしている人がいる。最後のひとりまで支援すべきだ。

答 引き続き県や国に支援を要望する。町としても再建が完了するまでしっかり支援する。

農業 シカの食害対策は 農柵の設置など視野

問 ワサビ栽培で、シカによる食害が多くなっていると聞く。状況は。

答 シカの食害により、全体の収穫量が減っている。昨年の3割以上の減となる見込みである。

問 早急に対策をすべきである。考えはあるか。

答 シカの駆除のため生息調査を実施する。関係者と協議、研究し、電気柵やフェンスなどの設置も視野に入れて対応する。

総括質疑



坂本 昇議員

問 主要施策の成果に関する報告書(※2)は、結果のみの記載ではなく、事業の

分析や検証まで載せることができないか。

山崎副町長 町が自己評価を示すことは、議会での議論が深まると考える。事務事業の評価を成果報告書の中に入れるか、別な分りやすい方法があるか検討していく。

ますの声



馬川竹夫さん(安家・67歳)

120アール作付けたワサビの約6割が鹿の食害に遭いました。被害が甚大で廃業を考えましたが、町の補助金を活用し、鉄線で囲い被害をくい止めています。

更新が必要なのか、規模を縮小できないのかを考えていく。できるだけコストを圧縮できるように取り組む。

(※1) 自然災害により、住宅が全壊などの被害を受けた世帯に、国が支援金を支給する制度
(※2) 地方自治法の規定により、町長が、議会から決算の認定をもらうために作成しなければならない報告書



龍泉洞の観覧料 1100円に

平成10年以來の改定



行楽シーズンには、多くの観光客が入洞券を求めて並びます

条例補正予算審査特別委員会（三田地泰正委員長）は9月13日、付託された条例13件、補正予算5件を慎重に審査しました。その結果、付託された議案全てを原案のとおり可決すべきものと決定。同日の本会議において全会一致で可決しました。ここでは、特別委員会の審査の中らいくつかの内容と質疑を要約してお伝えします。

観光特別会計の健全運営のため 観覧料を見直し

〔改正要旨〕令和2年4月1日から龍泉洞の観覧料を改定する条例を可決しました。龍泉洞の観覧料は、平成10年4月に改定以来、20年以上据え置きとなっていました。本年10月から消費税率が10%になることや、台風災害の龍泉洞復旧工事などで地方債残高が膨らみ、今後支出額が大幅に増加されることが見込まれます。観光事業特別会計（※）の健全運営のためには、観覧料の改定が妥当と判断したものです。改定額は、一般・高

龍泉洞観覧料（改定後）

区分	個人の場合 1人1回	団体の場合		
		15人～ 99人	100人～ 199人	200人 以上
大人	1100円	930円	880円	820円
高校生	1100円	770円	660円	550円
小中学生	550円	380円	330円	270円
小学生未満	無料			

（※）龍泉洞や町内の観光施設の運営のため設置されている特別会計。龍泉洞の売り上げなどは消費税の課税対象で、30年度は686万円を納めています

業 森林環境譲与税の算定基準は 林 3つの指標の中で算定される

問 環境譲与税の算定基準は。

答 私有林の人工林面積、林業就業者数、各市町村人口の3つの指標の中で算定される。

答 農林業センサス（※1）の数字である。

問 山が無い自治体でも環境譲与税が配分されるのか。

答 配分される。山林が有る自治体と連携し、森林環境保全に貢献していくもの。



譲与税を活用して森林の整備が進むことに期待

商 ご当地グルメ補助金とは エ B-1 グランプリの経費



全国各地で町のPRを行っている炭鉱ホルモン鍋発掘隊

問 ご当地グルメ推進事業補助金104万円の内容は。

答 11月23日、24日に兵庫県明石市で開催されるB-1グランプリ（※2）に炭鉱炭鉱ホルモン鍋発掘隊（ホルモン隊）が参加する。

本町のPRのため、炭鉱高校郷土芸能同好会の中野七頭舞に参加してもらおう。高校生10人と引率者1人分の交通費である。

問 ホルモン隊と商工会関係者は、自費での参加になるのか。

答 商工会の運営費と国の伴走型小規模事業者支援推進事業補助金（※3）を活用する予定である。

問 参加した生徒に感想文を提出してもらう考えはないか。

答 関係者と協議し、提出してもらう方向に進める。

子育て 認可外保育所の無償化は 保育料は徴収していない

問 保育の無償化に伴い、認可外の民営保育所の保護者負担はどうなるのか。

答 民営保育所は、町の補助金で運営をしている。保育料は徴収していない。おやつ代などの負担で、現状と変わらない。

問 子ども・子育て支援システム改修委託料の内容は。

答 10月1日からの保育の無償化に伴い、保育料の算定方法が変わる。システムを改修する委託料である。国県補助の補填が予定されている。

ますの声



阿部秀也さん (炭鉱高校・2年)

B-1グランプリでは、町の魅力と七頭舞をたくさんの人にアピールしてきます。会場の皆さんに感動を届けられるよう、自分たちも楽しみながら舞ってきます。

ますの声



中村彩乃さん (炭鉱・33歳)

2人の息子がこども園に通っています。保育料の無償化はうれしいですが、もっと園庭を広くしてほしいです。子どもが遊べる公園の整備も必要と思います。

（※1）国の農林業施策の企画・立案などのため、5年ごとに行う統計調査
（※2）日本最大級のまちおこしイベント。今年で11回目
（※3）国が、小規模事業者支援法に基づき、商工会などが実施する取り組みに支援するもの

一般質問

町の考えを問う

7人の議員が登壇

「ピーちゃんねっとで一般質問の動画を見ることが出来るよ！」



一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問をたずねたり、あるいは報告や説明を求めるところです。

9月定例会では7人の議員が登壇し、町政課題への提言や質疑を行いました。

ここでは、質問と答弁を要約した内容（12ページから18ページ）を登壇順（質問順）にお知らせします。

はたけやま まさのり 畠山 昌典 議員 (12ページ) ・ 踏み間違い防止装置へ補助を

さかもと のぼる 坂本 昇 議員 (13ページ) ・ 園地再整備基本構想の主眼は
・ 早期に事業承継対策を

はたけやま かずひで 畠山 和英 議員 (14ページ) ・ 新学習指導要領への対応は
・ 岩泉高校生に学校給食を

や え がしりゅうすけ 八重樫 龍介 議員 (15ページ) ・ 愛土館で競り市開催を
・ 安家産直施設再建の道のりは

の だて やすき 野館 泰喜 議員 (16ページ) ・ 畜産・酪農の働き方改革を
・ 地域おこし協力隊の拡充を

み た ち ひ さ し 三田地久志 議員 (17ページ) ・ 岩泉高校の生徒確保策は
・ 第三セクターの課題解決は

は や し ぎ き き ょ う じ ろ う 林崎 竟次郎 議員 (18ページ) ・ 副食材料費の負担軽減を
・ 医療費減免の継続を

新たな水道事業

◆水道事業の設置等に関する条例など(新)
一般行政部局とは独立した水道事業の事務部局を設置し、職員は企業職員となります。会計も発生主義・複式簿記を採用した公営企業会計方式となります。

施行日
令和2年4月1日



印鑑登録証明に旧姓が可能に

◆印鑑条例の一部改正
国は、旧姓を使用しながら仕事などを行う女性が増えている理由で、旧姓を住民票に記載が可能とする政令の改正を行いました。
町の印鑑登録事務でも旧姓が登録できるようになります。

施行日
令和元年11月5日



観光施設使用料を改正

◆ふれあいらんど岩泉条例など5つの条例を改正
10月1日からの消費税増税に対応するため、ふれあいらんど岩泉のコテージ、龍泉洞旅行村や氷渡交流施設のバンガロー、観光センターの使用料などを改正します。

施行日
令和2年4月1日



会計年度任用職員制度

◆会計年度任用職員に関する条例(新)
臨時職員・非常勤職員の制度が「パートタイム会計年度任用職員」と「フルタイム会計年度任用職員」という新たな制度に変わります。
支給対象となる勤務時間数を満たす職員には、期末手当(ボーナス)と退職金の支給が可能となります。

施行日
令和2年4月1日

おしえてピーちゃん

施行日とは?
成立した(可決した)法律や条例の効力が発生する日

こども園の保育料が無償化に

◆保育園設置条例の一部改正
10月から子育て世帯の負担軽減のため、3歳児から5歳児、住民税非課税世帯の0歳児から2歳児の保育料が無償となります。
今まで保育料に含まれていた、おかずやおやつ代(月額4,500円)は引き続き負担となります。

施行日
令和元年10月1日



森林整備の財源に基金を設置

◆森林環境譲与税基金条例(新)
森林環境税、森林環境譲与税に関する法律の施行に伴い、森林環境譲与税を受け入れる基金(※)を設置しました。
この基金を活用して、町の森林を整備していきます。

施行日
令和元年9月17日



畜産・酪農に関する請願

請願

2件を採択

- ◆畜産・酪農に関する請願
- * 請願人 岩泉町 中村匡志、西塚和貴、山屋祐太、工藤淳平
- * 紹介議員 三田地泰正
- * 付託先 産業常任委員会
- * 請願の要旨 町の畜産・酪農を守るために、次の2点の改善を強く要望します。
 - ▽ 農家が、最低1カ月間に2日以上以上の休みが取れるよう、ヘルパー制度の拡充を図ること
 - ▽ 生産規模拡大や環境改善に取り組めるよう、施設・機械整備への助成制度を確立すること

- ◆教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1の1復元を求める請願
- * 請願人 宮古市 岩手県教職員組合下閉伊支部支部長 菅原昭敬
- * 紹介議員 小松ひとみ
- * 付託先 総務常任委員会
- * 請願の要旨 子どもたちの豊かな学びを保障するため、国の関係機関に意見書を提出してください。
- ▽ 教職員の定数改善
- ▽ 義務教育費国庫負担制度を2分の1に復元すること
- ◆ 審査の結果 採択 (国の関係機関に意見書を提出)

(※) 特定の目的のために使うため、他のお金と区別しておく貯金



坂本 昇 議員

町長 基本的な考え方は、自然景観を生かした魅力ある園地を整備したい。洞内以外の新たな観光付加価値による誘客を図り、滞在型観光に繋げることを狙っている。

町長 観光関係者によるワークショップを開催したほか、委託業者による現地調査と龍泉洞を訪れた観光客からのアンケート調査を実施

問 龍泉洞園地再整備基本構想は、どのように描くことを主眼としているのか。

町長 現在、園地を整備後、誘客までを見据えたものとしている。

問 園地再整備基本構想の主眼は 答 滞在型観光に繋げていくこと

町長 基本構想の基礎データの収集に努めている。

町長 障がい者や高齢者にとって、使いやすいデザインに意を配していく。



周辺を整備することで観光客の滞在時間を延ばすことが期待される

問 障がい者や高齢者にやさしい園地にすべきではないか。

町長 完了は、本年度末の予定である。

問 踏み間違い防止装置へ補助を

答 事故防止対策を調査研究する



畠山 昌典 議員

問 全国的に高齢者ドライバーの事故が多発している。アクセルとブレーキの踏み間違いを原因とする事故は、年間6千件以上発生し、対策が急務だ。各関係機関では、運転免許証の自主返納を勧めている。しかし、それだけでは高齢者の事故防止対策の解決には至っていない。広大な面積を有している本町では、日常の移動手段として自家用車が手放せない。高齢者ドライバーの交通安全対策の一環として、現在使用している車に踏み間違い防止装置(※)を取り付け



交通安全、事故防止はみんなの願いです

た場合、その費用の全部または一部を町が補助する考えはないか。

町長 高齢者ドライバーの交通事故防止対策は、高齢化が著しい本町でも取り組んでいかなければならない課題の一つであると認識している。

町内の65歳以上の運転免許所有者は、平成30年12月末現在1864人である。本町における公共交通機関は限られていることから、自家用車は、高齢者にとって買い物や通院に欠かせない生活の足となっている。

岩泉警察署での運転免許証自主返納者は、平成27年から本年8月末までに145人と聞いている。

岩泉警察署での運転免許証自主返納者数	
平成27年	28人
28年	29人
29年	44人
30年	24人
本年	20人
合計	145人

問 小川地区では、振興協議会や駐在所、民間企業が連携し、踏み間違い防止装置を取り付けた車両の体験会を



普及が期待される踏み間違い防止装置

総務課長 庁用車に踏み間違い防止装置を装着し、デモカーとして町民が体験するのは、メリットやデメリットを知る有効な手段の一つである。前向きに検討する。

17文字のひとりこと 踏み間違い くるまも町も 対策を

(※) アクセルとブレーキの踏み間違いによる急発進を防ぐもの

問 早期に事業承継対策を

答 関係団体と連携し支援

問 畜産・酪農従事者との議員と語る会を行ったとき、事業承継に向け行動している若者がいて、町の対応に関心を示していた。

町長 国の動向を引き続き注視するとともに、県や岩泉商工会など関係団体との連携を強化し、小規模事業者の事業承継を支援していく。

町長 地域に根ざした企業活動の安定継続と地域経済の持続化のため、本年度、事業承継計画の作成支援などを行うことにしている。国では、経済構造改革の中で自治体と商工会が連携し、小規模事業者の事業承継を支援することが盛り込まれる見込みである。

町も早期に事業承継対策に取り組むべきではないか。

17文字のひとりこと

生かすべき 龍泉洞の 神秘性



八重樫龍介議員

問 浜の駅おもと愛土館の来館者数は、前年同月比で約1割強の減少が続いている。このまま対応を怠れば来館者の減少に歯止めがかからない。誘客施策の一つとして、宮城県名取市の閉上漁港で行っている客参加型の「競り市」を実施してはどうか。

答 去に「競り市」を開催した実績、経験もある。指定管理者である小本浜漁業協同組合とも協議、連携しながら対応していく。来場者減少の要因の一つに、三陸沿岸道路、田老岩泉間の開通が考えられる。観光客に立ち寄ってもらうためにも、三陸沿岸道路、岩泉龍洞インターチェンジから愛土館へ誘引



鮭のつかみどりや競り市のような参加型のイベントで集客を

問 愛土館で競り市開催を

答 指定管理者と協議する

する看板などを整備していく。年4回開催している

定期市は、町内外からの集客効果がある。年間の来館者数を増加に転じるには、平常時の来客を増やすことが必要と分析している。仕入れる鮮魚の量を増やし、魅力を高め、三陸有数の漁場である須久洞や小本産鮮魚をアピールしていく。

問 新学習指導要領への対応は

答 専門研修会へ積極的に派遣



小学校での外国語もスタートしています

問 教育改革により新しい学習指導要領がスタートする。教育現場の多様化が進み、学校・教職員の役割が大きく変わっていく。新学習指導要領に対する教育委員会や学校現場での取り組み状況は、どのような状況になっているのか。

答 教育長 10年ぶりに改訂する新学習指導要領は、道徳の教科化、外国語活動の拡大、プログラミング教育の導入が実施される。小学校は令和2年度、中学校は令和3年度からの完全実施に向け準備を進めている。県の専門研修会への積極的な派遣や校内研修による指導方法のレベルアップ、学習用パソコンへの指導用教材の導入などを行っている。教職員の負担軽減に配慮しながら教育活動を展開していく。

問 キャリア教育の取り組み状況と今後の方向性は。

答 教育長 小学校で農業体験、中学1年で第一次産業、2年で職場体験を実施している。生きる力を育み、郷土を創る人材を育成するため、キャリア教育の効果的な実施を研究し、実践していく。

問 岩泉高校生に学校給食を

答 早期実現に向け取り組み

問 学校給食を岩泉高校の生徒に広げることができないか。

答 教育長 給食センターは、老朽化が課題で建設候補地の選定に取り組んでいる。高年齢者などへの給食提供機能を兼ね備えた集中調理処理施設化は、高齢者施設の基準、配食種類への対応など課題が多くある。整備計画立案の際には関係機関などと十分協議する必要がある。

問 学校給食センターは、築40年以上が経過している。整備計画に

答 教育長 給食センターは、老朽化が課題で建設候補地の選定に取り組んでいる。高年齢者などへの給食提供機能を兼ね備えた集中調理処理施設化は、高齢者施設の基準、配食種類への対応など課題が多くある。整備計画立案の際には関係機関などと十分協議する必要がある。

問 安家産直施設再建の道のりは

答 複合施設完成後の再建を予定

問 安家産直施設の方は、工夫を凝らした誘客が必要と考える。行政からの人的支援を含め、熟慮断行することが必要だ。施設の再建までの道のりを示せ。

答 教育長 再建までの道のりは、安家地区複合施設の完成後になる。産直施設の再建に向けて、組合が抱えている一つの課題を解決し、情報共有を図りながら取り組んでいく。

17文字のひとりごと

販わいを求めて施策ひねり出す

17文字のひとりごと

外国語世界に負けぬひとづくり



三田地久志議員

問 昨年、公設民営塾設置の質問をした。「他に追従しない形で独自の対策を考える」との答弁であった。その後、検討状況は。

教育長 公営塾とは異なるが、進学コースの生徒は、放課後にサテライト授業(※)を行っている。著名な進学塾講師の動画による授業を導入している。

問 岩泉高校で行っている「KIZUKIプロジェクト」を発展・進化させ、高校生に考える力をつけさせる支援が必要ではないか。

教育長 岩泉高校の特色の一つが地域課題探



高校生のKIZUKIが町と高校の魅力アップに

問 岩泉高校の生徒確保策は 答 魅力を高める支援を実施

問 昨年度の卒業生のうち、国公立大学に進学した者が9人という実績を上げている。

問 岩泉高校で行っている「KIZUKIプロジェクト」を発展・進化させ、高校生に考

求学修「KIZUKIプロジェクト」である。これをさらに深化させ、ドリームサポート事業の再構築などとの連携を検討していく。

問 町としての思いを

教育長 これまで取り組んできた岩泉高校への魅力を高める支援は、途絶えることなく実施していく。事業効果の検証を高校と共有し、全ての生徒が希望する進路を実現できるよう取り組んでいく。

問 畜産・酪農の働き方改革を

答 意向調査を早期に実施する



野舘 泰喜議員

問 本町の畜産・酪農における働き方改革を進めるべきではないか。農家への意向調査を実施し、そこから出てきた希望休日日数を積算すれば必要なヘルパーの人数が出る。対応策を示せ。

町長 ヘルパーについては、宮古・下閉伊地区酪農ヘルパー利用組合が、平成4年から稼働している。本町を含め宮古市、山田町、田野畑村の広域的な組織である。30年度の実績は、9割が本町酪農家の利用である。1カ月の平均利用回数は1・2回と



酪農の維持発展のためには働き方改革が急務

なっている。

指摘されている働き方改革の方策は、作業の省力化とヘルパー対策の2本立ての対応が必要だ。意向調査は、肉用牛農家も含めた町全体の把握と今後の畜産振興策への反映のために重要と考える。早期に実施する。

問 現在のヘルパー体制は堅持し、別途本町単独で第三セクターに2〜3人のヘルパーを雇い入れるべきと考えるがどうか。

町長 既存組合の十分な議論と改善改革が必要である。町も積極的に議論の場に参加し、支援策を検討していく。

問 地域おこし協力隊の拡充を 答 新たな取り組みも積極的に

問 地域おこし協力隊の制度が10年経つ。全国で5359人まで増え、その6割が定住に結びついている。本町は本年度、17人の計画をしている。現状を示せ。

町長 現時点での地域おこし協力隊の受け入れ人数は、昨年度からの更新が3人、本年度の新規委嘱が2人となっている。

問 地域おこし協力隊拡充に向けた本町の取り組みはもっと工夫が必要ではないか。全国

の農林水産業関係の高校や専門学校に募集活動を展開してはどうか。

町長 地域おこし協力隊制度は、年々拡充し全国における募集活動もし烈を極めていく。議員提言の関係教育機関を始めとした次代の若者に本町の魅力を刷り込んでいく取り組みも検討する。

ワサビの生産拡大や観光事業の強化など本町産業振興に有効と認識している。本年度計画の17人を確保できるような積極的に取り組んでいく。

問 第三セクターの課題解決は

答 町も一体となって取り組む

洞の水」は、国内での競争が厳しく、売り上げの減少が続いている。第三セクターの今後をどのように考えているのか。

町長 第三セクターの課題は、指摘のとおりである。各社の取締役会や幹部会議などで議論し、情報共有しながら危機管理の意識を持って対応している。龍泉洞の水関連事業は、本町全体のブランド戦略の根幹であり、立て直しは必要不可欠である。町も一体となって取り組んでいく。

問 産業常任委員会第三セクターの役員と意見交換会をした。施設の老朽化や販売競争の激化による売り上げ不振などの課題を挙げた。中でも「龍泉

17文字のひとりごと

行政は人を育てる要なり

(※) 別な場所で行われる授業



林崎 竟次郎議員

問 副食材料費の負担軽減を

答 国の基準どおり対応する



おいしい給食をもりもり食べて大きくなーれ

問 国は10月から、3〜5歳児の保育料の無償化を行う。しかし、副食材料費（おかず、おやつ代）は保護者の実費負担とした。年収360万円以下の世帯は、副食材料費を免除対象としたが、

年収360万円を超える世帯には、国の基準で月額4500円の負担が残る。全国の自治体では、負担軽減の取り組みが始まっている。本町でも年収にかかわらず、全ての子育て世帯に対して、副食材料費の負担軽減をすべきではないか。

町長 国は本年10月1日から、3〜5歳児までの子ども、住民税非課税世帯の0〜2歳児までの子どもを対象に保育料の無償化を実施する。保育料に含まれている副食材料費は、指摘のとおり保護者負担となる。

町長 単独事業として第3子以降の保育料を無料とするなどの施策を進めてきた。国の制度創設に伴い、副食材料費の負担軽減を慎重に検討してきたが、国の基準どおりに対応する。

問 医療費減免の継続を

答 減免措置を延長する

問 国保に加入している台風10号被災者は、医療費や介護保険利用料などの減免に助けられてきた。経済的復旧もままならない中、病院での受診ができることを心底感謝している。東日本大震災被災者と同様に、令和2年以降も減免措置を継続すべきではないか。

町長 本年7月に災害公営住宅全戸が完成し、大半の被災者が引っ越しした。これから住宅再建をする被災者は、応急仮設住宅での暮らしがま

だ続く。被災者の住環境などが整うまでは、支援の継続が必要とされている。減免措置は、引き続き延長する考えだ。

問 県は、東日本大震災被災者の国保医療費や介護保険利用料などの免除措置の延長を継続する方向で自治体に意向調査をしている。本町の考えは。

町長 県内市町村と足並みをそろえ延長してきた。引き続き免除措置が必要と考えている。

17文字のひとりごと

被災者に寄り添うならば同じ策

常任委員会レポート

総務 総務常任委員会（坂本昇委員長）は8月9日、町内の高齢者福祉の現状を調査するため、特別養護老人ホーム百楽苑（分田悦子苑長）を視察しました。

百楽苑の現状を聴く施設の老朽化が課題



苑の最年長、加藤キワサさん（104歳）が元気にお出迎え

分田苑長の案内により、入所者の様子や施設内を見学した後、百楽苑の歴史や課題、職員体制について説明を受けました。分田苑長は「施設の老朽化が進み、屋根の塗装や給湯施設の改修

に多額の費用がかかる見込み。町に支援をお願いしたい」と話していました。高齢化率が40%を超える本町には必要な施設であり、議会としても支援の在り方を考えていきます。

産業

産業常任委員会（三田地久志委員長）は8月26日、第三セクターの現状と課題について、岩泉ホールディングス（山下欽也代表取締役社長）と意見交換を行いました。

三セクの課題は水の販売が赤字

岩泉ホールディングス（株）の山下社長は、乳業事業部と産業開発事業部の現状と課題について「岩泉ヨーグルトなどの乳製品の売り上げは順調であるが、龍泉洞の水シリーズが赤字である。今後は、龍泉洞の化粧水を海外へ拡大販売していきたい」。子会社の（株）岩泉きのこ産業柳畑正勝代表取締役社長は「昨年から



夏場のキクラゲ栽培を軌道に（柳畑社長）

の中国産菌床シイタケの流通により、大苦戦を強いられてきた。現在、試験的にキクラゲを栽培している。厳しい現状ではあるが前向きに取り組んでいく」と述べました。議会は、町内経済や雇用の中心を担っている三セクをどう守り発展させていくのか、町との議論を深めていきます。

【百楽苑の概要】 令和元年6月30日現在
*名称：特別養護老人ホーム百楽苑
*設置・運営：社会福祉法人恩師財団 済生会支部 岩手県済生会
*開設：昭和61年4月（2度増築する）
*職員数：84人（正職員47人、臨時職員37人）
*入所定員：長期110床、ショートステイ10床

【岩泉ホールディングス（株）の概要】
本年3月1日、岩泉ホールディングス（株）と龍泉洞の水シリーズなどを製造販売する（株）岩泉産業開発、岩泉ヨーグルトなどの乳製品を製造販売する岩泉乳業（株）の3社が合併し、岩泉ホールディングス（株）（岩泉HD）となりました。岩泉HDの子会社には、菌床シイタケを製造販売する（株）岩泉きのこ産業と龍泉洞温泉ホテルなどを経営する（株）岩泉総合観光があります。

議員13人が防災士を取得

議会は、岩泉町議会基本条例（平成27年3月9日制定）第7条で、災害時における議員の行動指針や行動規範を定めています。このたび、防災・減災に対する知識や意識の向上を図り、災害時における議員の活動に役立てるため、防災士（※）の取得試験に挑みました。昨年取得した1人を含め、議員13人が防災士になりました。（都合により1人未受験）これからも、町民の安心安全を守るため、議会として全力を尽くしていきます。

議長 加藤久民



画面上部の「PC版で表示する」をタップ

（※）社会の様々な場で防災力を高める活動を行うため、日本防災士機構が認証する、十分な意識と一定の知識、技能を修得した人（日本防災士機構ホームページより）

議場に「かわいい」お客様

議場は広いな〜

釜津田小（菊池正人校長、児童7人）3・4年生2人が7月3日、社会科見学で議場を訪れました。



総務課の職員から説明を受ける2人
佐藤漣君（4年）は「議場に初めて入れてうれし〜」中田美羽さん（3年）は「すごく広くてシンプル」と感想を話してくれました。



広い議場に緊張ぎみの佐藤漣くん（左）と中田美羽さん

議員と町のことについて語り合いませんか？

議員と語る会を開催

議会活動の報告と町民の皆さんとの意見交換会を開催します。
時間は、各会場とも午後7時から午後8時30分までの予定です。
多数の参加をお待ちしています。

月 日	地区名	会 場
11月 6日(水)	岩泉	役場大会議室
11月 7日(木)	大川	大川基幹集落センター
11月 8日(金)	小川	小川生活改善センター
11月11日(月)	小本	小本津波防災センター
11月14日(木)	安家	安家生活改善センター
11月15日(金)	有芸	有芸生活改善センター

※都合により変更する場合があります。

町ホームページで 会議録が閲覧可能

議会会議録を町ホームページで公開しています。9月定例会分は11月下旬ごろに掲載予定です。

町立図書館または役場各支所図書室では、会議録の写しが閲覧可能です。

会議録



議会を傍聴しませんか

次の定例会は、

12月5日(木) 一般質問

12月6日(金) 一般質問

12月10日(火) 特別委員会、本会議を予定しています。

詳細は、ぴーちゃんねっとでお知らせします。
※都合により変更となる場合があります。

編集後記

▽今号は決算議会ということで、災害復旧が主要テーマとなりました。災害公営住宅への入居も完了し、復興に向けた議論が増えてきました▽次の時代を思うとき、国連気候行動サミットでのスウェーデンの16歳の女性が放った演説は衝撃でした。その数倍の年を重ねた自分自身は、あの訴求力を見習いたいものだと思います▽「議会は何かをしているのか」ということを適切にお伝えするために相変わらず研さんの日々です。

広報広聴常任委員
野館 泰喜

広報広聴常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 八重樫龍介 |
| 副委員長 | 小松ひとみ |
| 委員 | 野館 泰喜 |
| | 三田地久志 |
| | 畠山 和英 |
| | 畠山 昌典 |



古紙のリサイクルに取り組むオフィス町内会と、森林の再生に取り組む岩手県岩泉町との連携により実現した「森の町内会一問伐に寄与した紙」を使用しています。